

令和 2 年 2 月 5 日

## 令和 2 年度予算（案）の伝達等について

文部科学省から伝達のありました本学の令和 2 年度国立大学法人運営費交付金予定額及び令和 2 年度国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業等についてお知らせします。

### 国立大学法人運営費交付金等

総額 35 億 3,205 万円 対前年度当初比 3 億 397 万円減

文部科学省より伝達のあった本学分の予算案に係るポイントは次のとおり。

- 各国立大学法人におけるマネジメント面での改革を一層推進するとともに、教育研究の更なる質の向上を図る観点から、成果に係る客観・共通指標により実績状況を相対的に把握し、これに基づく配分を実施するとして、国立大学全体で約 850 億円が設定され、本学については次のとおり計上された。2 億 4,613 万円
- 各大学の機能強化の方向性に応じた取組をきめ細かく支援するための「3つの重点支援の枠組み」に基づく配分額として、国立大学全体で約 250 億円が設定され、本学については次のとおり計上された。7,397 万円
- 地域の教育研究拠点として地方創生に資する教育研究組織の設置、Society5.0に向けた人材育成や世界最高水準の教育研究を実現するための体制構築など、各大学の戦略的な教育研究組織整備を支援するとして、国立大学全体で 7 億円が計上された（新規・拡充分）。  
本学については、食農学類「発酵醸造研究所」（仮称）の設置に係る人件費が計上された。3,176 万円
- 国内外のネットワーク構築や新分野の創成等、共同利用・共同研究拠点の強化に資する取組の支援を通じて、我が国の研究力向上を図るとして、環境放射能研究所の取組が継続計上された。1,000 万円
- 授業料免除の実施については、高等教育の修学支援新制度（内閣府計上分）とは別に、現に支援を受けている学生で、高等教育修学支援新制度の対象外または支援額の減少する学生に対する経過措置分、及び被災学生や大学院生等への支援分が計上された。1 億 5,646 万円
- 令和元年度補正予算（令和元年 12 月 5 日閣議決定）において、「国立大学等における Society 5.0 時代を担う人材育成のための教育研究環境の基盤整備」として、国立大学全体で 45 億円が計上された。  
本学については、食農学類の「農林業の現場課題の抽出と解決を促す教育・研究システム」に係る経費が計上された。1 億 4,813 万円

### 国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業

令和 2 年度分とあわせて、令和元年度補正予算分も伝達された。  
本学については、それぞれ次の事業が計上された。

- 令和元年度補正予算 ライフライン再生（給排水設備）
- 令和 2 年度当初予算 教育実習棟改修（芸術系）

（お問い合わせ先）  
財務課予算係 熊谷 三四郎  
電 話：024-548-8014  
メール：zaimu@adb.fukushima-u.ac.jp